

本指導資料の活用について

- 学年 中学校第3学年
- 主な領域 (公民的分野) C 私たちと政治 (1) 人間の尊重と日本国憲法の基本的原則
- 活用のポイント
 - ①同和問題(部落差別)と外国人への差別が、インターネット上で起こっている問題について考えます。
 - ②動画資料等を活用することで、生徒が問題について理解しやすいように構成しています。

中学校第3学年 社会科学習指導案

1 小単元名 「人権と共生社会」(6時間)

2 小単元について(略)

3 小単元の目標と評価規準

(1) 目標

- ・人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義を理解する。
- ・対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、対話的な活動を通じ、日本国憲法において人権保障が大切にされている理由について多面的・多角的に考察し、表現する。
- ・人権保障が大切にされている理由について考え、現代社会に見られる人権上の課題の理解や解決を視野に主体的に社会に関わろうとする。

(2) 評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・人間の尊重についての考え方を、基本的人権を中心に深め、法の意義を理解している。	・対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、対話的な活動を通じ、日本国憲法において人権保障が大切にされている理由について多面的・多角的に考察し、表現している。	・人権保障が大切にされている理由をふまえ、現代社会に見られる人権上の課題の理解や解決を視野に、主体的に社会と関わろうとしている。

4 小単元の指導計画・評価計画(6時間)(略)

※ 使用する教科書に合わせて、埼玉県中学校教育課程指導・評価資料(令和3年3月)及び埼玉県中学校教育課程実践事例(令和5年3月)を参照し、作成してください。

5 人権教育上のねらい(個別の人権課題「同和問題(部落差別)」、「外国人」)

同和問題(部落差別)と外国人への差別について、歴史的背景や国の対策及びその現状について正しく理解する。

6 人権教育上の視点

- ・同和問題（部落差別）や外国人への差別は、重大な人権侵害であり、一人一人が差別を許さず、解決に向けて取り組まなければならない問題であることを認識する。（価値・態度）

7 本時の学習指導（1／6時間）

(1) 目標

- ・同和問題（部落差別）や外国人への差別について、歴史的背景や国の対策及び差別の現状について理解する。

(2) 展開

◎人権教育上の配慮

学習活動等	指導上の留意点	・資料 観点 具体の評価規準
1 同和問題（部落差別）とヘイトスピーチに関する動画を視聴する。 2 同和問題（部落差別）とヘイトスピーチについて知っていることを発表する。 3 本時の課題を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ヘイトスピーチの動画を視聴する際には、外国籍の生徒の心情に配慮する。 ・歴史的分野での学習を想起させる。 ・同和問題（部落差別）で触れる「えた」「ひにん」などの用語については、本時の学習で特別に使うものであり、日常生活では絶対に使ってはいけない用語であることを説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料(1) MOJチャンネル 人権啓発動画 「『誰か』のことじゃない。」部落差別（同和問題）編 ・資料(2) MOJチャンネル 「ヘイトスピーチ、許さない。」（インターネット編）
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>課題 現代の日本社会にはどのような差別があり、新たにどのような問題が起きているのでしょうか。</p> </div>		
4 同和問題（部落差別）の概要について、教科書等を使って調べまとめる。 5 同和問題（部落差別）の現状について理解する。 6 外国人への差別の現状について、教科書等を使って調べまとめる。	<ul style="list-style-type: none"> ・ノートやワークシート等に同和問題（部落差別）の歴史的背景をまとめさせる。 ・現在も部落差別が存在していることから、「部落差別解消推進法」が制定されたことについて説明する。 ・資料(3)の一部（10分39秒～12分32秒）を再生し、インターネット上でも差別が行われていること、またその問題点について理解させる。 ・このような行為は重大な人権侵害であることを説明する。 ・在日韓国・朝鮮人が日本に多く住んでいる歴史的背景については、歴史的な分野での学習を踏まえ、説明する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料(3) MOJチャンネル 人権アーカイブ・シリーズ「同和問題～未来に向けて～」

<p>7 法務省啓発冊子(マンガ)「私たちの身近にあるヘイトスピーチ」を読み、ヘイトスピーチの内容について理解するとともに、ヘイトスピーチ解消法が制定されたことについて知る。</p> <p>8 同和問題(部落差別)や外国人への差別がインターネット上で起こる問題点について考える。</p> <p>9 本時の学習課題についてまとめる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・デモや街宣活動だけでなく、インターネット上でもヘイトスピーチが発生していることについて補足説明する。 ・「ヘイトスピーチ解消法」が制定されたことについて説明する。 <p>・前単元で学習した「情報化」の進展の負の側面をもとに考えさせる。</p> <p>◎同和問題(部落差別)や外国人への差別は、重大な人権侵害であり、一人一人が差別を許さず、解決に向けて取り組まなければならない問題であることを説明する。 (価値・態度)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・資料(4) 法務省啓発冊子(マンガ)「私たちの身近にあるヘイトスピーチ」 <p>知 同和問題(部落差別)や外国人への差別について、その歴史的背景や国の対策及び差別の現状について理解している。(ノート、ワークシート等)</p>
<p>まとめの例 日本には同和問題(部落差別)や外国人へのヘイトスピーチなどの差別が現在も存在する。また、それらの差別は、インターネット上でも行われており、多くの人々に悪い影響を及ぼしているのが問題である。</p>		
<p>10 本時の学習の振り返りを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習を振り返り、自身が学んだことや差別についてどのように考えるか記述させる。 	

8 資料

- (1) MOJ チャンネル「ヘイトスピーチ、許さない。」(インターネット編)
<https://www.youtube.com/watch?v=luvClLJt76c&t=10s>
- (2) MOJ チャンネル 人権啓発動画「『誰か』のことじゃない。」部落差別(同和問題)編
<https://www.youtube.com/watch?v=FEi60hJei5U>
- (3) MOJ チャンネル 人権アーカイブ・シリーズ「同和問題～未来に向けて～」
<https://www.youtube.com/watch?v=TqRMVdVtoss>
- (4) 法務省啓発冊子(マンガ)「私たちの身近にあるヘイトスピーチ」
<https://www.moj.go.jp/content/001360690.pdf>